



農福連携勉強会「ふくしまフォーラム」を開催！

令和5年2月17日（金）福島県農業総合センターにおいて、農福連携勉強会「ふくしまフォーラム」が開催されました。



今年度の勉強会では、「農福連携事業にかかる助成金について」と題して東北農政局の井上様より説明を受けると共に、基調講演では、「助成金の活用で充実の農福連携事業」と題して千葉大学農学博士の吉田様よりお話しをいただきました。昨年に引き続き農業や農産物の加工に携わっている事業所や、今後農福への取り組みを検討している事業所を対象に開催しました。

午後からは、「農業と福祉の連携で工賃向上を！助成金の活用で更なる事業の充実を」と題してパネルディスカッションが行われ、実際に助成金を使い農福事業に取り組んでいる、社会福祉法人ひろせ福祉会、NPO法人あたご共同作業所、NPO法人きぼうのあさがおにお話しいただき、千葉大学吉田農学博士、ヤマト福祉財団渡辺シニアマネージャー、(株)ランドマーク川田代表に助言をいただきました。参加者からは、商品のブランディング化に向けた助成金の活用など新たな農福連携の取組について勉強されたかと思えます。今回の勉強会を機に、助成金を活用した農福連携を実践していただき工賃向上に繋げて欲しいと思えます。



「エディブル・フラワー」

寒い2月も終わり、3月卒業シーズンに入ろうとしています。別れの卒業式は「花」が必需品、いや主役となるシーズンですね。花は見るものと思っていたのですが、ここ数年前から、花を食べ物に取り入れようとしている動きが広がっている様です。食べられる花『エディブル・フラワー』といいます。アイスクリームにバラの花びらを添えたり、サラダやスイーツにパンジーやナデシコが加わえたりと、イメージただでカラフルさに気持ちが癒されます。これからの季節、食卓によく並ぶふきのとうや菜の花などがあり特別なわけではありませんが、料理が華やかになるだけではなく、ビタミンなど豊富な花もあり、花の世界は食べ物としての可能性を秘めており、将来の食糧不足にも一役になってくれるものと思っています。綺麗な花を見て、美味しそうと思うようになる日も近いかもしれませんね。これから暖かい新緑の季節がやってきます。散歩しながら花を見る目が変わってくるかも知れませんね。



（担当：会津圏域 増井 義博）

《事務局から》

アンテナショップ「福祉の店郡山」を開催いたします。

- ・開催月日：令和5年3月4日（土）～14日（火）
- ・開催時間：9時から17時（最終日は15時）
- ・開催場所：イトーヨーカドー郡山店

